

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム 平津
日付	平成19年3月31日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

<p>概評</p> <p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>入居者が安住の地として、長期に渡って生活しています。高齢ということもあり動作環境には多少問題がありますが、楽しく生活されていました。昨年の評価をより深く実行する為に、今年は駐車場の近くに畑を作ったり、買い物にも行くようにしたり、入居者の外出できる機会も増やしていました。</p> <p>申し送りの時、口頭のみで行う場合もありましたが、職員間の話し合いで介護記録をしっかりと読むように変えたことも大きな成果で、介護記録が誰でも理解しやすいようにきちんと書くようになっていきます。何かトラブルがあればすぐに話し合いをして解決に当たっていることも前向きでした。</p>
<p>改善の余地があると思われる点(記述式)</p> <p>外部からあまり認知されていない環境なので、地域との交流やホーム機能の地域への還元はなかなか難しいようです。運営推進委員会などを利用して、理解度を高める事を今後の課題としたいです。</p>

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 「個人の尊厳が保たれる、その人らしい穏やかな生活援助。家族も安心してまかせられるケア。」を理念にしています。生活のリズムや望んでいる事を援助して行き、自由に暮らしてもらえるように気をつけています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 入居者との会話を重視しています。入居者によっては自分の居室でゆっくりとしたい方もいますので、個々のペースに任せています。決して無理強いはいしません。本人が望んでいる事をケアするようにしています。入居者の気持ちを一番に考えています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	ブライトを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 介護記録の背表紙には入居者の名前を書きません。居室の番号を書くようにしています。 大正琴を勉強している入居者がいます。時折、居室でがんばって練習しています。行事の時には演奏してくれるそうです。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	保険証の一時預かり、返却でのトラブルがあったから、記録を取るようになりました。また申し送りをすると口頭で行う場面もありましたがきちんと伝えないこともあり、今から申し送りは介護記録を見ることを重視し、記録をきちんと書くようになりました。 入居者の転倒があったので、職員が入居者に背を向けないようにするため、ソファのレイアウトを変えました。		